

令和8年 3月 3日

厚沢部町議会議長 鈴木 祥 司 様

産業厚生常任委員長 高 田 一 弥

令和7年度 産業厚生常任委員会第2回所管事務調査報告
当委員会が行った令和7年度所管事務調査事項について、会議規則第77条
の規定により報告します。

記

1 第1回調査

1) 調査年月日 令和7年11月 7日(1日間)

2) 調査項目 ①レクの森の管理状況について
②オートキャンプ場の管理・運営状況について
③地域計画について
④活性化センターの試験状況について

3) 調査委員 委員長 高 田 一 弥
副委員長 松 村 松 雄
委 員 中 山 俊 勝
委 員 山 田 克 哉

2 調査結果

①レクの森の管理状況について

レクの森の管理状況について資料説明を受け、現地視察を行った。

今年度から管理人が二人体制となり、開設期間中に管理人が常駐できるようになったことでキャンプ場が清潔に保たれており、キャンプブームが下火になる中、フリーテントサイトの利用者が増えた一因になったと思われる。テント泊するライダーには穴場的な人気があるようなので、この体制を維持できるように努めていただきたい。

遊歩道については、委託業者、管理人、協議会で協力し、毎年草刈りは行われており、安全に散策できるようになっている。町民参加の散策会や教育委員会主催の木育事業などのイベントは今後も続けていただきたい。

旧森林管理署跡地も、今後道の駅と一体となって活用できるよう協議していくとのことであり、有効な活用を期待する。

②オートキャンプ場の管理・運営状況について

オートキャンプ場の管理状況について資料説明を受け、また、町民からコテージの劣化についての情報提供があったため、現地視察も行った。

コテージについては、平成10年の建築以降建て替えられていないが、破損などは都度修繕されており、使用できる状態は保たれていた。築年数が長いと劣化は致しかたないが、修繕費用と稼働率を考慮し、現在の棟数を維持するかの検討は必要である。

集客については、コロナ禍のキャンプブーム以降、年々落ち込んではいらぬ。カーサイトのシンク設置やインターネット予約など、利便性を向上させる対応はしているので、そこをアピールして集客に繋げていただきたい。

③地域計画について

地域計画の現状と課題について資料説明を受けた。

当町の地域計画は、令和7年3月31日付けで策定され、町ホームページでも公表されている。現在の集積率は84.4%と高く、目標としている95.0%の集積率に向け、今後は計画のブラッシュアップを進めていくとのことであり、多くの農業者と意見を交わし、後継者問題、休耕地・耕作放棄地問題解消の一手となることを期待する。

国で令和9年度から水田政策の抜本的見直しを行うとされており、その政策によっては集積に影響を及ぼすことが懸念されているとのことだが、町として情報を収集・発信し、JAや土地改良区などの関係機関との連携をより一層強化して進めていただきたい。

④活性化センターの試験状況について

活性化センターの試験状況について資料説明を受けた。

過去２年の試験結果及び今年度の試験項目が示され、ブロッコリーの新高機能性肥料効果確認試験とさつまいもの新品種栽培試験は３年連続で行われている。試験結果は農業者に公表されており、この２品種を中心に、当町の新たな主要作物となることを期待する。

活性化センターは、農業者の技術的な課題の解決や地域農業の活性化など、重要な役割を担っている。今後は猛暑・干ばつ対策や、物価高騰に対応するための省力栽培など、近年の課題に取り組むとのことなので、当町の農業振興のために努めていただきたい。